

平成31年4月～令和元年6月期
地域産業経営動向調査
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関
堺商工会議所 〕

調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数D I 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所800社（建設業200社・製造業200社・卸売業100社・小売業100社・サービス業200社）
3. 調査期間 令和元年6月14日（金）～令和元年6月28日（金）

4. 回収率	調査対象数	回収数	回収率
建設業	200社	104社	52.0%
製造業	200社	106社	53.0%
卸売業	100社	50社	50.0%
小売業	100社	56社	56.0%
サービス業	200社	102社	51.0%
全産業	800社	418社	52.3%

【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- D I 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

【各項目別のD I 値の意味について】

- 業況判断 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … D I 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

調査結果の概観

今期(4月～6月期)の前年同期比を見ると、雇用人員は2期連続の改善、採算、資金繰りは改善、業況判断はやや改善、売上高はやや悪化となった。

来期(7月～9月期)の予測については、業況判断は横ばい、雇用人員はやや悪化、売上高、採算及び資金繰りは悪化となっており、引き続き市内中小企業の動向については、注視していく必要がある。

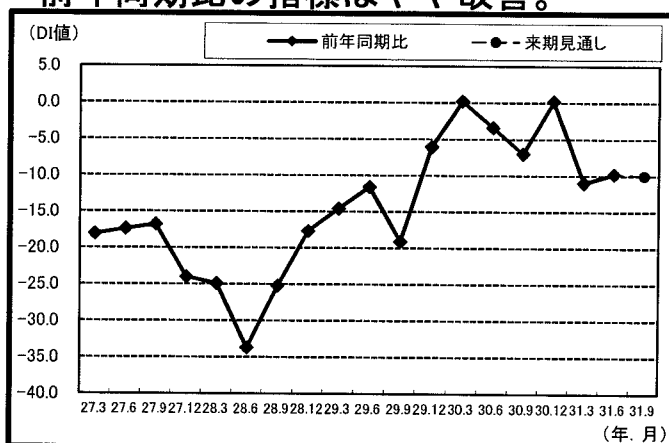
1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標はやや改善。
($\Delta 11.0 \Rightarrow \Delta 9.8$)

・来期見通しの指標は横ばいと予測。
($\Delta 9.8 \Rightarrow \Delta 10.0$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、製造業、小売業及びサービス業は改善。卸売業は横ばい、建設業は悪化。

・前年同期比の指標はやや改善。



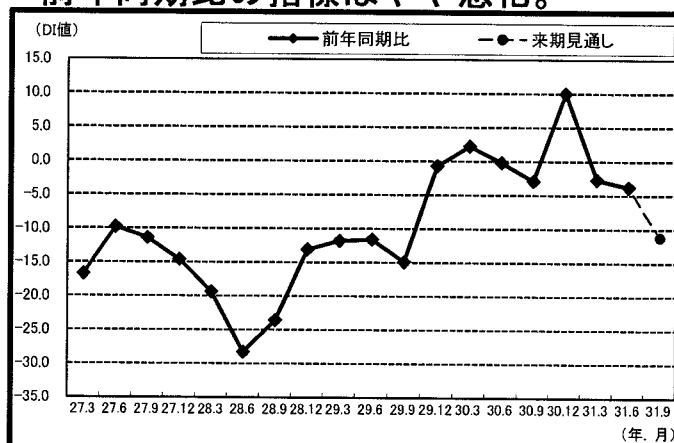
2. 売上高の動向

・前年同期比の指標はやや悪化。
($\Delta 2.7 \Rightarrow \Delta 3.8$)

・来期見通しの指標は悪化と予測。
($\Delta 3.8 \Rightarrow \Delta 11.2$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、製造業、小売業は改善。建設業は悪化で、卸売業、サービス業は2期連続で悪化。

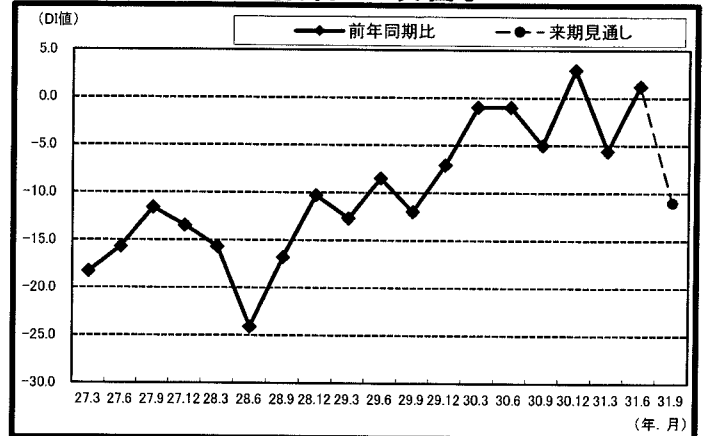
・前年同期比の指標はやや悪化。



3. 採算の動向

- ・前年同期比の指標は改善。
($\Delta 5.6 \Rightarrow 1.2$)
- ・来期見通しの指標は悪化と予測。
($1.2 \Rightarrow \Delta 11.0$)
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、製造業、卸売業、小売業及びサービス業は改善。建設業はやや改善。

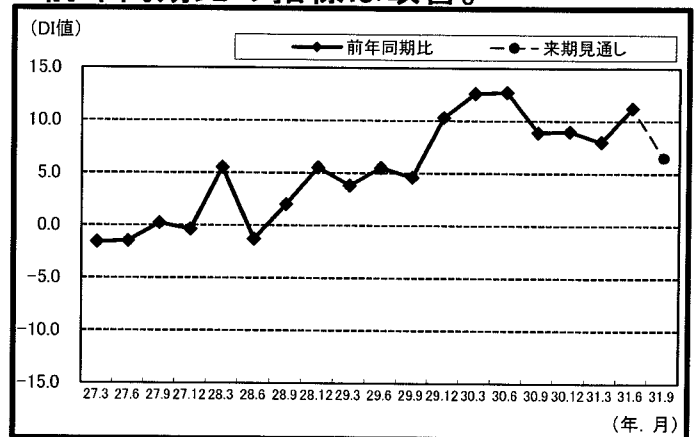
・前年同期比の指標は改善。



4. 資金繰りの動向

- ・前年同期比の指標は改善。
($8.0 \Rightarrow 11.2$)
- ・来期見通しの指標は悪化と予測。
($11.2 \Rightarrow 6.5$)
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、製造業、サービス業は改善。卸売業は横ばい。建設業はやや悪化。小売業は悪化。

・前年同期比の指標は改善。



5. 雇用人員の動向

- ・前年同期比の指標は2期連続で改善。
($\Delta 1.0 \Rightarrow 3.8$)
- ・来期見通しの指標はやや悪化と予測。
($3.8 \Rightarrow 1.2$)
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業、製造業は2期連続で改善。卸売業は改善。小売業は横ばい。サービス業は悪化。

・前年同期比の指標は改善。

